

4 健康に関する環境づくり

はじめに

学習指導要領にどのように書かれているかを確認することから始めます。この単元は学習指導要領上の位置づけとしては、**ア 健康の考え方 (エ) 健康に関する環境づくり** の内容に該当します。

指導要領解説には、

ヘルスプロモーションの考え方に基づき、健康を保持増進するには、環境づくりが重要であることを理解できるようにする。その際、健康を保持増進するための環境には、自然環境、及び政策や制度、地域活動などの様々な社会環境があることを理解できるようにする。また、一人一人が健康に関心を持ち、健康に関する適切な環境づくりにかかわっていくことが必要であることにも触れるようにする。

※この内容は「保健」の内容全体にかかわるものである。ここでは、概念的な理解を促すこととし、特に関連の深い「イ健康の保持増進と疾病の予防」などにおいて具体的な内容をもとに理解を深めることにします。

【理解できるようにすること】

- 健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方に基づいた、環境づくりが重要であること。
- 健康を保持増進するための環境には、自然環境及び社会環境があること。

【触れるようにすること】

- 一人一人が健康に関心をもつこと。
- 一人一人が健康に関する適切な環境づくりにかかわっていくこと。

授業づくりの実際（指導と評価の一体化を意識して）

内容の取扱いの（８）には、指導に際しては、知識を活用する学習活動を取り入れるなどの指導方法の工夫を行うものとする。となっています。これは、「保健」の指導に当たっては、知識の習得を重視した上で、知識を活用する学習活動を積極的に行うことにより、思考力・判断力等を育成していくことを示したものである。指導に当たっては、ディスカッション、ブレインストーミング、ロールプレイング（役割演技法）、実習や実験、課題学習などを取り入れること、地域や学校の実情に応じて養護教諭や栄養教諭、学校栄養職員など専門性を有する教職員等の参加・協力を推進することなど多様な指導方法の工夫を行うよう配慮することを示したものです。

《例示》

【知識・理解】→指導方法と評価方法の検討

- ヘルスプロモーションの考え方とは
- 健康を保持増進するための自然環境とは
- 健康を保持増進するための社会環境とは

【思考・判断】→指導方法と評価方法の検討

- どうしたら一人一人が健康に関心をもつことができるようになるか、グループで考えてみよう。
- 高校生としてできる健康に関する環境づくりにはどのようなものがあるだろうか。

【関心・意欲・態度】→評価方法の検討

- 今日の学習のどの場面でどのように評価するか。

上記の指導方法や評価方法を念頭に、指導内容の順序や発問の仕方、知識を活用する学習活動の取り入れ方などを工夫し、1時間の授業を組み立てていきます。

本単元のキーワード

「ヘルスプロモーション」「自然環境」「社会環境」